

自動車防災情報

交通安全テスト

次の問は、運転者として知っておくべきこと、守らなければならないこと、安全運転の方法などについて述べています。正しいものには○を、誤りには×をつけて下さい。(1問10点・計100点)

- 問1 道路の曲がり角付近では、見通しの良し悪しにかかわらず、徐行しなければならない。
- 問2 杖をついている高齢者が歩いているときは、一時停止か徐行をして、その通行を妨げないようにしなければならない。
- 問3 図1の標識のある道路では、乗車定員が11人以上のマイクロバスは通行することができない。
- 問4 同じ速度でカーブを通過する場合、カーブの半径が小さくなればなるほど遠心力が強く作用する。
- 問5 エンジンブレーキは、高速ギアよりも低速ギアのほうが制動効果は高くなる。
- 問6 高速道路では、緊急自動車が本線に入ろうとしている場合、緊急自動車の通行を妨げてはならない。
- 問7 図2の標識は、横断歩道と自転車横断帯があることを示している。
- 問8 運転するときは免許さえ携帯していれば、自動車検査証や自賠責証明書は携帯しなくてもよい。
- 問9 事業用自動車の使用者は、1日1回、運行前に点検を実施しなければならない。
- 問10 自動車を運転するときは、2時間に1回は休憩をとるように心がけるとよい。

図1



図2



《答え》

- 問1 ○ そのとおり。【道交法 42 条】
- 問2 ○ 歩行に支障のある高齢者のほか、障害のある歩行者等に対しては、一時停止または徐行してその通行を妨げてはならない。
- 問3 ○ 「大型乗用自動車等通行止め」の規制標識で大型乗用自動車と特定中型自動車は通行できない。
- 問4 ○ 遠心力はカーブの半径が小さいほど大きくなり、速度の二乗に比例する。
- 問5 ○ そのとおり。
- 問6 ○ そのとおり。【法 75 条の 6】
- 問7 ○ そのとおり。問題の指示標識は「横断歩道・自転車横断帯」であり、横断歩道と自転車横断帯があることを示している
- 問8 × 携帯しなければならない。【道路運送車両法第 66 条、自賠法第 8 条】
- 問9 ○ 事業用自動車のほか、車両総重量8トン以上の自家用自動車等は1日1回、運行前点検が必要【道路運送車両法 47 条の 2】
- 問10 ○ 長時間運転するときは、2時間に1回は休憩をとること。【教則第 4 章第 1 節】